

2024-2025 年度 国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ
国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック (米国ペンシルバニア州)

例会日 : 毎月第2・第4水曜日

場 所 : 各務原市産業文化センター2階

住 所 : 各務原市那加桜町2-186

TEL (058)382-4649 FAX (058)382-4719

会 長 : 金武 峰之 幹 事 : 松久 茂彦

副会長 : 左高 洋 会 報 : 星川 俊輔

本日のプログラム ◎2024年10月5日(日)

各務原市社会福祉フェスティバル 10:00~

場所:各務原市民公園

次回例会の予告 ◎2024年10月9日(水)

クラブフォーラム 19:30点鐘

場所:産業文化センター2階 第2会議室

出席委員会 会員総数 37名(出席免除2名)
(2024.7.1 現在)

第 2812 例会
令和 6 年 9 月 13 日(水)
No. 0750



～ 亀井 喜久雄ガバナー 公式訪問例会 ～

司会進行

松久 茂彦 幹事

そして本日は新たに2名の会員、丹羽さんと成松さんをお迎えしております。末永く一緒に活動できることを楽しみにしております。

会長挨拶

金武 峰之 会長

本年度は我等各務原 RC 小林 幹男ガバナー補佐が、色々な地区やクラブを回りながらご活躍されていますが、亀井ガバナー、的場代表幹事、今中幹事も既に50クラブを訪問されているとの事で、非常にお忙しい中各務原へお越し頂き有難う御座います。



皆様、改めましてこんばんわ。先ず初めにお客様のご紹介をさせていただきます。

- ・国際ロータリー-第2630地区
ガバナー 亀井 喜久雄 様
- ・2630地区 地区代表幹事
的場 敏訓 様
- ・2630地区 地区幹事
今中 武美 様

- ・東海北陸道グループ ガバナー補佐 小林 幹男 様
- ・各務原市長 浅野 健司 様
- ・関中央 RC 会員増強委員長 森 敬 様

本日も沢山の皆様に来て頂き、嬉しい限りです。先程ガバナー懇談会では、皆さんと各務原 RC について色々お話をさせて頂き、ダントツに若い組織であるとのお声を頂きました。私自信も実感しており、活気ある皆さんと楽しく活動できることを、嬉しく思います。

僕もまだまだロータリー歴浅いですが、先輩方よりお話しを伺いながら少しでも良くなる様、クラブ運営をしていきたいと思っています。皆様 どうぞ宜しくお願い致します。



来賓挨拶

各務原市長 浅野 健司 様



改めまして、皆さんこんばんは。亀井ガバナーはじめ役員の皆様、ようこそ各務原の地へお越し頂き誠に有難う御座います。先程亀井ガバナーと名刺交換させて頂いた際、お兄さんが名張市長を5期20年務められたとお伺いしました。以前、中部地方整備局で懇談会があった祭、静岡、岐阜、三重、愛知の一市長が参加する席で、ご一緒させて頂いた事がありました。印象としては、非常にユニークで物腰柔らかでありながら、芯の通った意見がビシッと云える素晴らしい大先輩市長でした。

各務原 RC の皆様におかれましても、常日頃から多様な面で支えて頂きまして有難う御座います。また来年4月に開校致します 新特別支援学校でもご支援頂けるとの事で、有難う御座います。建設工事も順調に進んでおります。以前もお話しさせていただきましたが元来、特別支援学校は県が設置する県立です。現在各務原に於いては関市、羽島市へバスまたは親の送迎により登校している状況から、長年県へ要望を出してまいりました。しかし県では新たに学校を新設しない事を受け、各務原市立特別支援学校として進めています。特に PR している点は、全国で小中高の特別支援学校を持っている市は3つしかありません。京都市、川崎市、神戸市で人口150万人以上の自治体になります。人口15万人にも満たない市で建設することは果敢なる挑戦であろうと思っております。また3市との違いとしては、小中高の特別支援学校の所在地が皆違う地域にあるという点です。各務原市は同一敷地内に小中高一貫校の為、全国で初めての建物になるのではないかと思います。

4月1日に開校しますが、ロータリーの皆さんには日頃から培っていただいた知見をこの支援学校にも目を向けていただき、良きアドバイスを頂けたらと思います。いずれにしろ行政だけでは難しい点も多い為、今後も引き続き宜しくお願い致します。

新会員入会式 (2024年9月入会)

◎丹羽 善彦 君

私は関市でミトモ開発(株)という会社で、測量、設計、申請をしております。会社は50年ほどになり私で2代目になります。各務原市で生まれ育ち、現在55歳ですが今も拠点は各務原に置いています。しかし屋号が関市にあるということで、入会に際し迷いもありましたが、こちらに入会させて頂くことになりました。皆さんと末永くお付き合い出来たと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

各務原ロータリークラブ ガバナー公式訪問



◎成松 祐輔 君

私は各務原市おがせ在住の47歳になります。仕事は岐阜市大工町で、税理士事務所をしています。事務所は3代目になります。義父も長くロータリーに入っていました。今回はご縁があって、各務原ロータリーに入会させて頂くことになりました。年齢層も幅広く、若い方が多いと聞きました。未だ分からない事も多いですが、どうぞ宜しくお願い致します。



ニコBOX報告 R財団委員会 河野 春男 委員長

- ・亀井 喜久雄ガバナー お世話になります。
- ・関中央 RC 森 敬 様 本日はお世話になります。宜しくお願ひ致します。
- ・小林 幹男 AG 亀井ガバナー本日は宜しくお願ひします。
- ・金武 峰之 会長 皆様こんばんわ。亀井ガバナー、的場さん、今中さん、本日はようこそ各務原 RC へ。そして丹羽さん、成松さんご入会おめでとう御座います。末永く宜しくお願ひします。
- ・松久 茂彦 幹事 ようこそお出で下さいました。
- ・野村 公人 会長エレクト 亀井ガバナー、的場地区幹事、今中幹事、ようこそお越し下さいました。本日は宜しくお願ひします。
- ・横山 隆一郎 君 亀井ガバナー本日は宜しくお願ひします。
- ・平井 正晴 君 亀井ガバナーようこそ各務原ロータリークラブへ。本日は宜しくご指導ください。
- ・可児 昌則 君 亀井ガバナー本日は宜しくお願ひします。
- ・永田 和弘 君 本日は宜しくお願ひします。
- ・竹田 克茂 君 亀井ガバナーようこそ各務原ロータリークラブへ。
- ・横山 浩之 君 亀井ガバナー本日は宜しくお願ひします。
- ・大野 広 君 亀井ガバナーようこそ各務原ロータリークラブへ。連日の公式訪問お疲れ様です。
- ・小島 博彦 君 亀井ガバナー本日は宜しくお願ひします。
- ・松井 雅史 君 亀井ガバナー本日は宜しくお願ひします。
- ・河野 春男 君 亀井ガバナー、的場地区代表幹事、今中地区幹事ようこそ各務原にお出で下さいました。本日は宜しくお願ひします。

ご挨拶

2630 地区 地区代表幹事 的場 敏訓 様

皆さん、こんばんわ。地区代表幹事の的場と申します。各務原 RC は、小林 AG のお膝元ということで日頃からお世話になっております。小林 AG とは学年が 1 つ違いで、私が年上になります。これだけ年齢層の若いクラブは初めてビックリしております。これもご縁ですので、どうぞ宜しくお願ひ致します。



本日は地区大会の内容、登録について少しお話をさせていただきたいと思ひます。10月5日、6日開催致します地区大会まで1ヵ月切りました。

名張市は能の街

ということで、子ども狂言の演舞、人間国宝の茂山 七五三先生による狂言を演じていただきます。そしてロータリーの会員拡大における伝説上の人物、高崎 RC 田中 久夫 さんによるご講演「ロータリークラブに入ろう！」をいただきます。この方は、会員数 50 数名のクラブを 1 年間で 110 名にされ、それ以降も退会者が 1 名も出ていないという素晴らしい方です。本も出版されているそうで、是非ご参考にしていただけたらと思ひます。次に特別講演ということで、デヴィ夫人をお招きしております。一般の方からも公募によりご来場していただき、「人道支援と人生のモチベーション」と題した講演と記念撮影を予定しております。そして初日最後には、毎年恒例の RI 会長代理により晩餐会を開催しますが、会場の都合上会長と幹事は其々別会場となります。幹事さんに於かれましては、ゲストとして Mr. マリックさんをお迎えしております。参加人数に対し結構なお金が掛かっております。

2 日目はオリンピック 3 連覇、柔道の野村 忠宏さんをお迎えして「折れない心」と題してご講演をいただきます。名張市は全国的にも柔道が大変強く、亀井ガバナーはじめ中島大会実行委員長も学生時代柔道の経験があり、後輩にあたる野村さんをお招きする運びとなりました。講演後には、社会貢献ということで柔道教室を開催します。

2 日目最後になりますが、大昼食会で OSK という宝塚の様な劇団をお招きしております。また名張市は、お米とお水が美味しく美人が多いという事で幻のお酒「而今(じこん)」をキープしております。これは地元でも中々手に入らないお酒ですが、こちらが大抽選会で当たるかもです。是非最後までご参加いただき名張にどっぷりと浸かっていたいただけたらと思ひます。どうぞ宜しくお願ひ致します。

本日のプログラム 卓話

第 2630 地区 亀井 喜久雄 ガバナー



皆さん、改めましてこんにちは。7月1日からガバナーに就任させて頂きまして、早2ヶ月が過ぎました。小林 AG はじめ皆さんに

助けて頂きながら何とか頑張っています。クラブ訪問が主な活動となっております。率直な感想として、色々なクラブがあるなと思いました。100人近いクラブも有れば、11人といったクラブもあります。人数が多ければそれなりに活発に活動しております。私の年度では、あれもこれもは出来ませんので「会員増強、会員基盤の強化」を柱にやっています。各務原市の人口14万人を超える数に対し、1クラブしかないのも非常に珍しい。人口比1,000人に対してロータリアンは6~7人いますので、各務原市の場合は約100人の計算になります。2~3人増するのではなく、目標は高く100人を目指してお取り組み願います。

さてガバナーの仕事は、国際ロータリーRI会長ステファニー A. アーチックさんのスピーチをピックアップし、考えやどのような方針を持っているかを地区内のクラブへお伝えする事になります。また国際ロータリーの活動のフレームを作成している事務総長のジョン・ヒューコの言うことについては、極めて共鳴致しました。今年1月9日から2週間近く、アメリカのオーランドというフロリダ半島の中程にある町に1週間程滞在し、RIの方針を聞きました。その中でも決議23-34は日本のロータリーが最も大切に守ってきたものです。これは百年以上前、ロータリークラブができてまだ十数年の時に出された決議です

社会奉仕の功績を自分のものとせず、そのすべてを協力者の手柄にするようにしなければならないと明記してあります。ロータリーの奥ゆかしい一面で、陰徳を積むという高潔な考えですが、その謙虚さが社会におけるロータリーの存在感を薄めていないで

しょうか？社会奉仕の功績はもっと社会に広報してもいいのではないのでしょうか。それが社会的地位を高め、会員入会の動機付けになるものと考えます。またステファニー A. アーチックさんの基調講演の中で、印象に残った言葉をご紹介します。

「地区が過去50年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。そして地区内のクラブが活発に活動していない場合、又は会員が減少している場合は地域社会にあった新クラブを結成する必要性があるでしょう。」と言っています。この事例として取り上げているクラブは、平均年齢が60歳代後半の古いクラブを対象に発信した言葉になります。自分達のクラブはこのまま維持したい、という場合は新たなクラブを新設して下さい。皆さんもご周知かと思いますが今年新たに2つの衛星クラブが誕生する予定です。また更に「地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であってもD.E.Iを受け入れれば、共通の目的の為に結束しやすくなります。」と述べています。

今年のロータリーテーマ「THE MAGIC OF ROTARY」これを提唱した発端について、次のように述べています。ドミニカ共和国で浄水器の設置活動に携わったとき、汚い水がフィルターに入り反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。少年の一人が私の袖をつかんで『もう一度魔法を見せて』と言ったのです。「もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、現地のリーダーと協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということ、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです」これをヒントに「THE MAGIC OF ROTARY」のテーマに決めたそうです。

次に日本のロータリアンからは、大変評判の悪いジョン・ヒューコさんについてお話しさせて頂きます。この方は、現在国際ロータリー事務総長兼最高経営責任者です。この方がロータリーを動かしている実務的トップの方で、いわゆるプロフェッショナルのロータリアンの方です。何故評判が悪いかというと、毎月の給与が63万ドル超（1億超）、ボランティア団体の事務総長が何たることかと言われてい

ますが、非常に優秀な方でハーバード大出身、ケンブリッジ大学にも留学していました。

現在国際ロータリーの事務局員は 800 人います。年収 1,000 万として試算しますと、年 2 回の人頭分担金があるまま使われている計算になります。しかし彼は大変優秀な方で、危機感を持って会員増強について先鋭的なメッセージを言っています。入会して 10%以上の方が入会后 1 年以内に退会しています。退会者の約半数は、クラブでの所属年数が三年未満であるということです。若い方が入ってきて、若い方から抜けていく、こういった傾向になっているということです。とにかくクラブの中身が変わっていないからだというようなことを言っております。ロータリーの良さを分からないうちに退会しているので、新会員がロータリーへ行っても居場所がある、この様な雰囲気作りをお願いします。

良い実例として、フィリピンのクラブで 70 年の歴史あるクラブをご紹介します。ここではクラブでの体験をより良くする方法について、新会員から提案を募ってクラブの運営に反映しています。つまり新会員（若い方）からアイデアをもらってプログラムに反映している。新会員ないしは若い会員の意見を尊重して下さい、としています。

最後にジョン・ヒューコの刺激的なメッセージをお伝えします。「会員が減っている地域、クラブが苦勞し低迷している地域では慣習を断ち切り、この素晴らしい組織に入会してもらいたいと思える革新的なクラブ作りをして下さい」更に、「中核的な価値というのは何かと言ったら、四つのテストであったり奉仕と親睦、倫理と高潔さ、こういったものは基本的にロータリーのコアバリューです。唯一それだけに共通の認識を持って頂ける人であるなら、ぐっと間口を広げていったらどうですかという話です。

頻繁に例会を開こうと、点鐘しようとして歌を歌おうと、それがクラブを支え、クラブの存続と成長につながるなら、それでよいでしょう。しかしそうでない場合は、そうした慣習をやめもっとよいものに置き換えて下さい。」ここまで発言しています。

歌を歌ったり、パーティーの最後に手と手を繋いで踊る、新会員が違和感を覚える様な内容は積極的に変えて行っても良いと言えます。とにかくキーワードは「変化」です。時代にマッチして行ってください。

来年 2025-26 年度はブラジルの方マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長です。そしてその次 2026-27 年度は、韓国のサンクン・ユン会長です。

最後に、決議 23-34。これは百年以上前、ロータリークラブができてまだ十数年の時に出された決議です。これを日本のロータリーは非常に大事にしています。これは社会奉仕に関するもので、ロータリーの独自の自治権を示しているということでよくこれが用いられています。どんな奉仕活動のプログラムであっても、RI がそれをやめろという権利はありませんということを謳った決議です。これを日本のロータリーで取り消そうという議案が出たことがあるのですが、強硬に反対をして残したということです。確かに自治権というのがあるので、我々はこうやるんだっていうのも認められています。そういった時には、せめて RI の方針に従える新クラブの創設に皆さんの力を貸して頂きたいと思います。いわゆる衛星クラブ、パスポートクラブなど、色々な対応のクラブ、バリエーションができてきています。そういったことについて皆さん前向きにお取り組み頂きたいと思います。両か質かというようなことがよく言われますが、そのような議論は一年間置いておいて、とにかく量、我々の仲間を増やすということに一年間は専念して頂きたいと思います。



ガバナーよりメッセージ

ロータリーは 21 世紀に入る頃までは会員数は右肩上がりでも急激に増加してきました。1956 年には約 40 万人、66 年・76 年・86 年・96 年と 10 年ごとに 20 万人ずつ増え続け、1986 年には 100 万人を突破し、1996 年には 120 万人となりました。それから 28 年後の今も 120 万人です。日本も 96 年の約 13 万人がピークで現在 8.4 万人です。

世界的にはドイツを除く先進国では減少、とりわけイギリスとオーストラリアが大幅減少。台湾・インド・韓国で増加傾向というのがいままでの経緯です。過去5年間20%の地区が新クラブを一つも設立していません。入会した新会員のうち10%以上が入会后1年以内に退会しています。退会者の約半数がクラブでの所属年数がわずか3年未満です。これはよいことではありません。退会した会員はロータリーに対する否定的な見方をほかの人と共有しますからロータリーブランドにも害が及びます。

停滞の最大の原因は経済発展が先進国で止まり、その穴を発展途上国が埋めたことです。このままでは先進国のロータリアンの減少は尚一層進み、活動自体に支障をきたし、衰退への道は目に見えています。

これまでさまざまな会員増強策が試みられ、一部では成功していますが、全般にわたるものではありません。

私たちは新入会員入会にあたって、全員の同意を取ることが前提となっていませんか？これは「量より質」という考え方によるものですが、会員増強にとって自らブレーキを踏んでいるように見えます。私たちの中核的価値、すなわち「4つのテスト」に見合った人ならば、たった1人の反対で入会を拒否するのはどうでしょうか。再考をお願いします。

入会間もないメンバーが数多く退会するのはなぜでしょうか？それはその人にとって居心地が悪く、ロータリーの意義を感じ得ないからでしょう。そのような人には積極的にクラブの重要な役割を与えて、考えていただくのです。きっと意識の中の「何か」が変わるでしょう。良きロータリアンの道が開けると考えます。

決議23-34は日本のロータリーが最も大切に守ってきたものです。ただその中で、社会奉仕の功績を自分のものとせず、そのすべてを協力者の手柄にするようにしなければならないと明記してあります。ロータリーの奥ゆかしい一面で、陰徳を積むという高潔な考えですが、その謙虚さが社会におけるロータリーの存在感を薄めていないでしょうか？社会奉仕の功績はもっと社会に広報してもいいのではないのでしょうか。それが社会的地位を高め、会員入会の動機付けになるものと考えます。

スティーブ・ジョブズはこう言いました。「アップル社再建の妙薬は費用を削減することではない。現在

の苦境から抜け出す斬新な方法を編み出すことだ。優れた製品を提供し続ければ、顧客はいつでも財布を開いてくれると、私たちは信じていた」と。

革新の必要性は当時のアップルにあてはまり、同様に現在のロータリーにも当てはまります。

国際ロータリー事務総長ジョン・ヒューゴ氏は言います。「私たちの中核的価値、すなわち四つのテスト・奉仕と親睦・倫理と高潔さは決して変わることはありません。

でも、それ以外はどうでしょう？何事も可能です。どんなに頻りに例会を開こうと、点鐘しようと、歌を歌おうと、それがクラブを支え、クラブの存続と成長につながるなら、それでよいでしょう。しかし、そうでない場合は、そうした慣習をやめ、もっとよいものに置き換えてみてください」

この言葉を私たちは今一度かみしめる必要があるように思われます。どうか、前例にとらわれない新しい「在り方」を模索してください。

